

高速道路のトイレの取り組み

中日本高速道路株式会社

2025.11.6

1

2

3

4

5

6

7

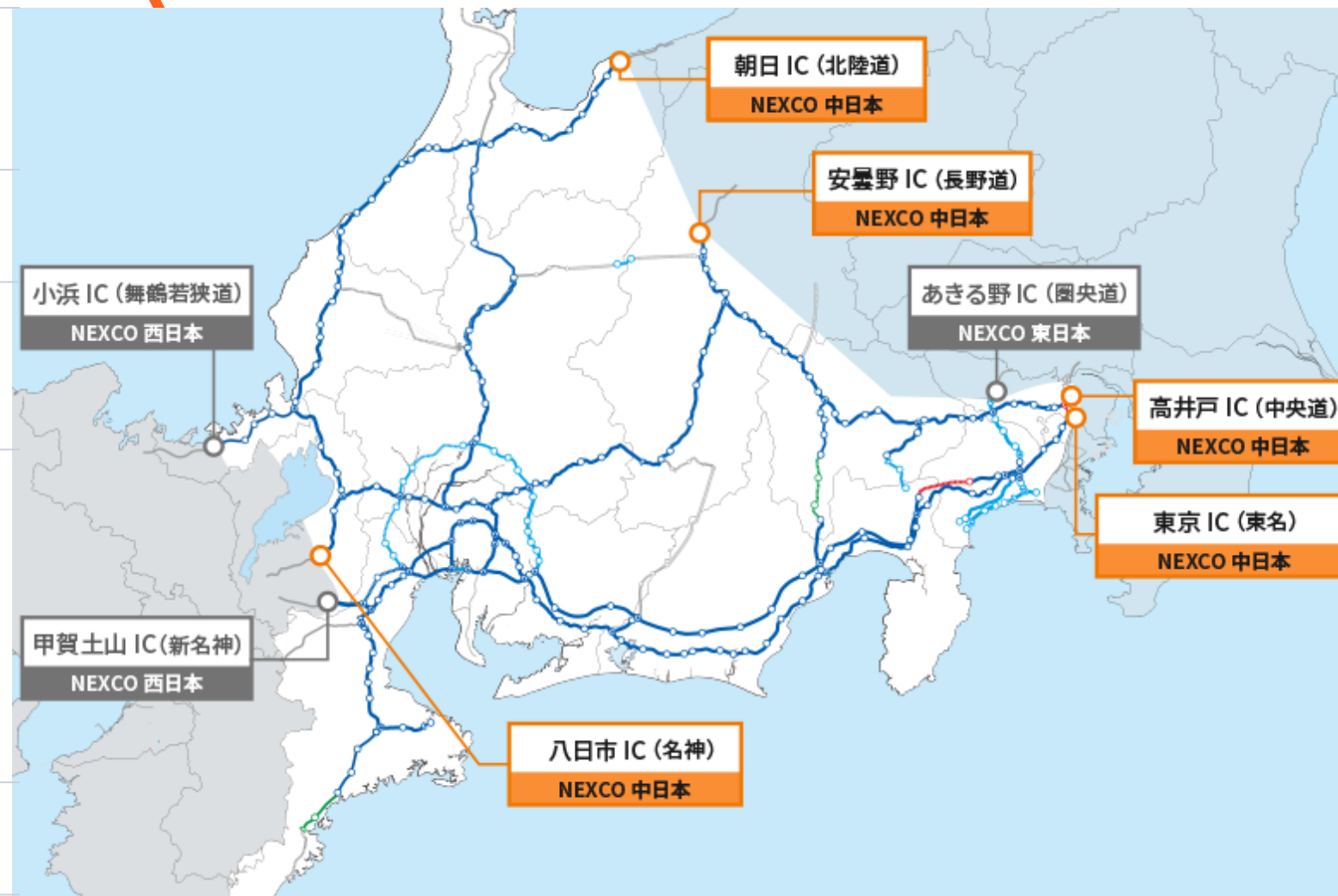
8

会社概要

商号	中日本高速道路(株) (Central Nippon Expressway Company Limited)
管理延長	約2,000km
管理する区間	東京都、静岡県等 1都11県の高速道路
管理する路線	東名高速道路、 新東名高速道路、 名神高速道路、 中央自動車道等 23路線
休憩施設数	約200エリア※
交通量	約200万台/日

※休憩施設数は、

- ・上下線のS A P Aが分離しているエリアは各々1エリアとして計2エリアとして計上
- ・上下線一体の場合は、1エリアとして計上



1

2

3

4

5

6

7

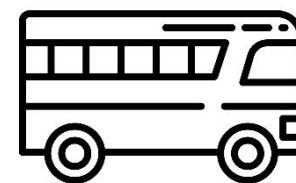
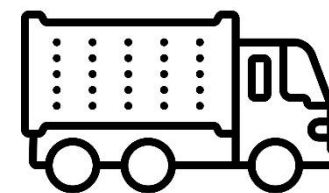
8

高速道路空間の トイレの特性

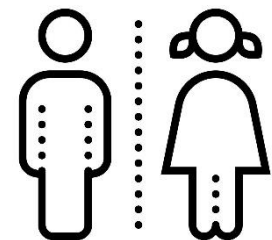
高速道路は一種の閉鎖空間であり、長時間の運転でも安心してご利用いただけるよう、休憩施設には24時間利用可能なトイレ専用建物を設置している。

高速道路ならではの利用客

高速道路のトイレを利用されるお客様は普通車
の他、トラックやバスに乗車して利用しており、
休憩施設に駐車される方の7割以上がトイレを
利用している。



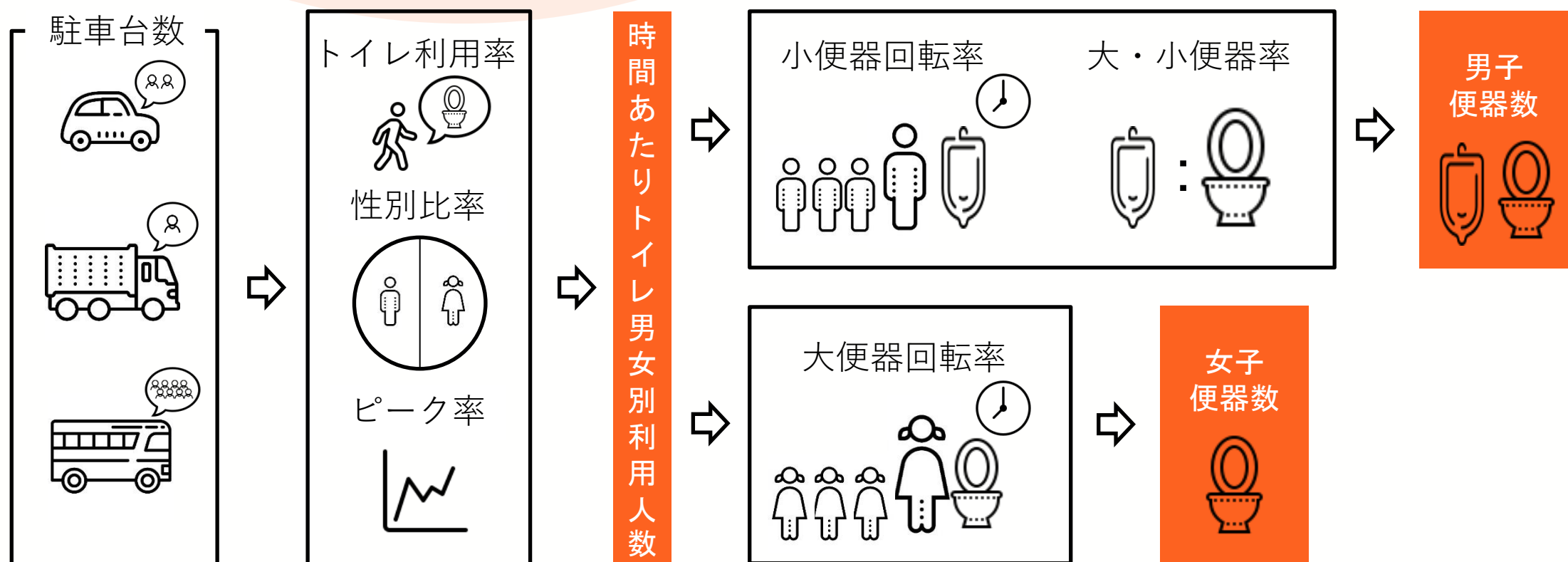
7割
以上



トイレ設置の考え方

休憩施設のトイレは**高速道路内の閉鎖空間である特性**による利用率の変化やバスによる集中利用等の要因により、特殊な環境である。

そのため、**高速道路では独自の便器数算定の基準**を作り、**定期的にトイレの利用実態調査**を行い、係数を適宜見直すことで社会情勢の変化に対応している。



行列改善のための 取り組み 1

-東名高速道路
海老名SA上り線-



ブースの満空表示ランプ

- 奥側のトイレブースに空室があるのに気付かず混雑してしまう場合がある
- 表示ランプを整備することで空室の見える化を実現

満空表示板

- トイレブースの分岐部に空室状況がわかるモニターを設置

サバンナ効果

- 「明るい方へ行きたくなる」というサバンナ効果を利用し手前から奥にかけて照明を明るくすることで奥側ブースの利用を促す

1

2

3

4

5

6

7

8

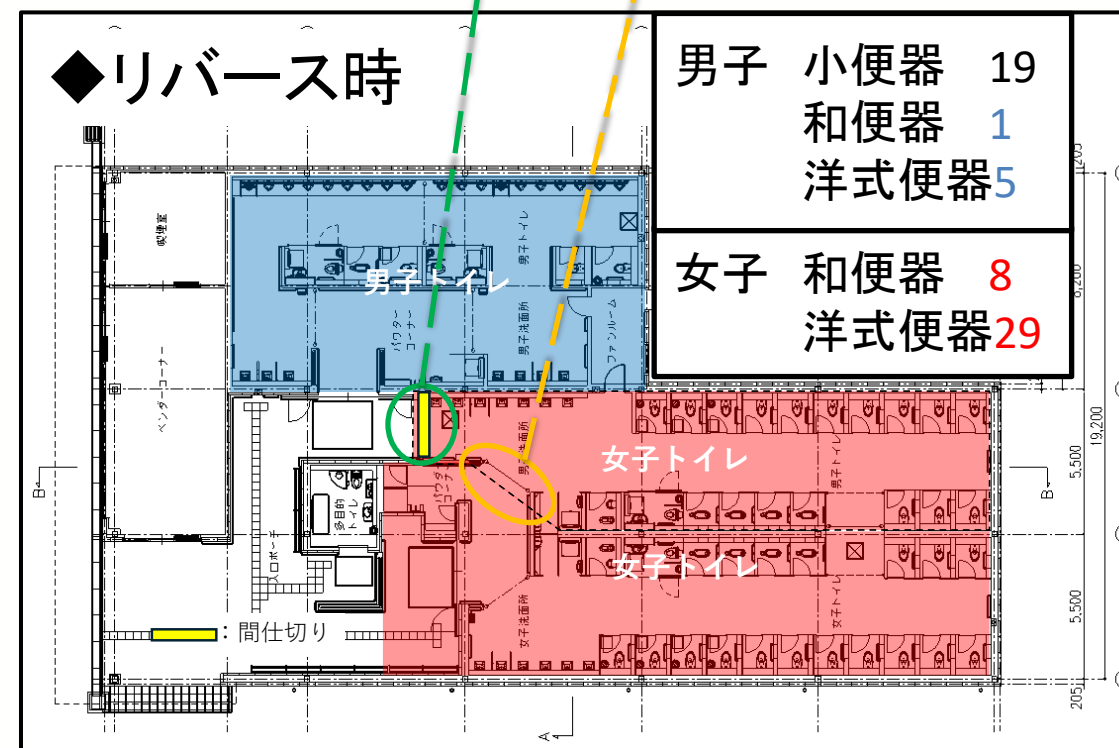
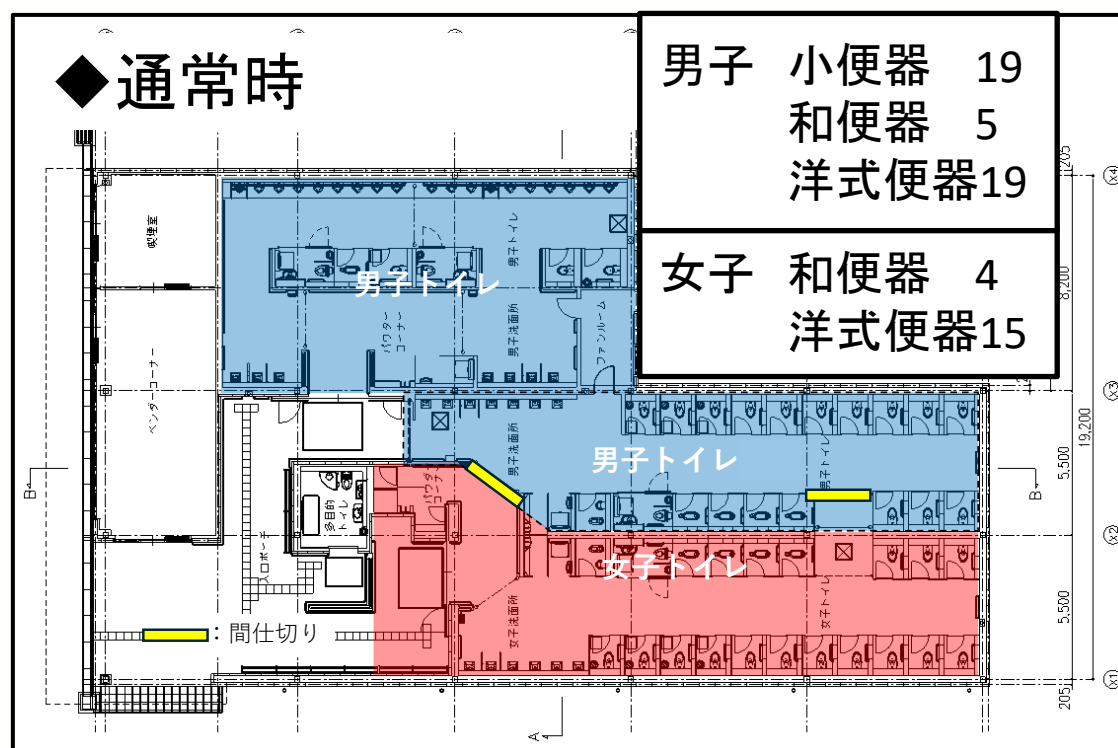
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

行列改善のための 取り組み 2

-京葉道路
幕張PA上り線
(NEXCO東日本) -

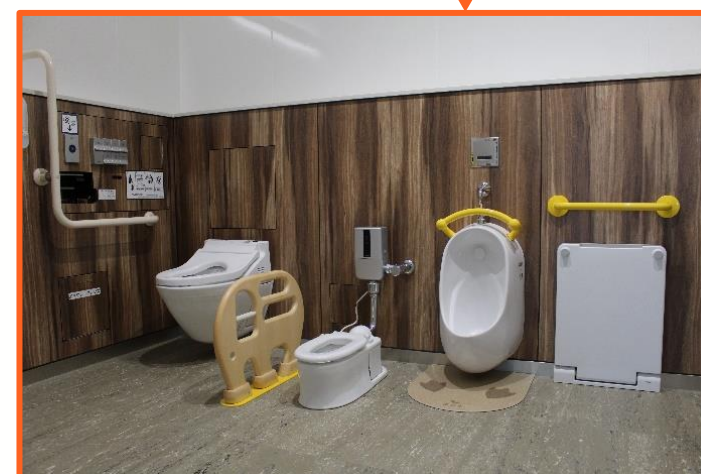
男女トイレリバーズ運用

男子・女子トイレに切替できるように間仕切りを設け
一時的にトイレブースの数を調整することができる機能
地域特性：平日トラックドライバーが多い傾向

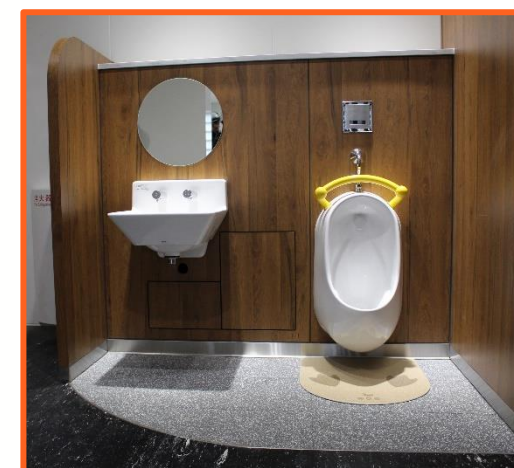


行列改善のための 取り組み 3

- 名神高速道路
桂川PA上り線
(NEXCO西日本) -



ファミリートイレ (専用個室)



子供用トイレ (トイレ内)

パウダーコーナー

個室や洗面台で化粧直し等の様々な利用が混在するため、個室トイレと動線を分離した位置へパウダーコーナーを設けることで女子トイレ内の混雑改善を実現。

お子様連れ利用への配慮

異性のお子様同伴ではトイレが利用しづらいとの声もあることから、お子様連れへの配慮（機能分散）により、女子トイレ内の混雑改善や利便性を向上

1

2

3

4

5

6

7

8

改修の事例紹介

北陸道 南条サービスエリア（下り線）

改修時期

2023年

改修内容

パウダールームの新設
導線の改良
利用表示の追加 等

改修前後 便器数

男小**12** → **11**
男大**4** → **9**
女 **27** → **35**

〈改修の経緯〉

建物の老朽化更新に合わせて、利用状況を踏まえた最適な便器数・個室数に見直しを実施

改修前



改修後



今後の取り組みの方向性

💡 高速道路の特性

- ・ 一種の閉鎖空間
- ・ 24時間利用可能
- ・ 一定程度利用客数を推定可能であること
→ 高速道路独自のデータ収集が必要

📈 継続的なデータ収集

- ・ 利用実態調査を継続的に実施
→ 改善策の効果検証と最適化

1

2

3

4

5

6

7

8